

質 問 順 位	6	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 市民生活行政	1. 市営バスの運行について	1. 塾や部活帰りの学生は、市営バスの最終便が早いいため、そのほとんどが保護者頼りになっている。特に冬季期間は自転車が運転できないため、保護者の負担が大きく、交通事情で部活や塾を諦めざるを得ない家庭もある。教育環境の平等確保の観点からも冬季期間限定の増便等、利用者の現状に合わせた対応を検討できないかを伺う。		
	2. 公共施設の整備について	1. 市役所は多くの市民が訪れる公共施設の拠点であるため、観光や公共のホスピタリティの観点からも、マナー喫煙を推奨することは必要であると考え。現在、市庁舎付近に公共の屋外喫煙所を設け、分煙、マナー向上、ポイ捨て防止に一定の成果を上げている自治体の事例があるが、本市でも同様の事例の調査や設置の検討を進めてはどうか。見解を伺う。		
		2. 市役所内の1階ロビーにフリーWi-Fiが設置してあるが、わかりづらいため明確に表示して欲しいとの市民からの要望があった。さらに、2階図書館や11階の食堂など市民が多く滞在する階層にも、フリーWi-Fiが欲しいという声が若い人を中心に寄せられている。フリーWi-Fiを設置することは食堂の集客にも繋がるのではないかと。見解を伺う。		
2. 保健福祉行政	1. ワクチン助成について	1. おたふく風邪は、子どもに多く流行するウイルス性の疾患で、大人が感染すると症状が重くなることで知られている。国では1歳から就学前の子どもに2回のワクチン接種を推奨しているが、任意予防接種のため自費負担となっており、保護者の経済的負担が大きい。道内各地の自治体で実施されている同様の助成事業を行うことを検討してはどうか。見解を伺う。		

質 問 順 位	6	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		2. 妊婦や子ども達にインフルエンザワクチンの助成をして欲しいとの切実な声が、乳児や受験生を抱える保護者から出ている。特に複数人子どもがいる家庭では、家庭内感染を防ぐことは至難の業であり、毎年シーズンになると保育現場や学校現場は集団感染に備えなければならず多忙を極め、妊婦がかかると切迫早産のリスクが上がる。そのためインフルエンザワクチン助成は大変社会的意義がある事業であり、実施を検討すべきと考えるが、市の考えを伺う。		
	2. 保活について	1. 子育て世帯が保育園に入園するために行う活動全般を指して「保活」というが、保活中の保護者が保育所の空き状況をホームページなどで逐一確認できるようにして欲しいとの要望があった。保活中の保護者への情報提供等のサポート対応は現状どのように行っているのかを伺う。		
	3. 滝川市の未来を担うこどもの子育て・子育て環境づくりに関する条例について	1. 滝川市の未来を担うこどもの子育て・子育て環境づくりに関する条例は制定から16年が経過した。本年2月に策定された滝川市こども計画に合わせて今一度この条例の理念を見直し、国のこども基本法や国連の子どもの権利条約との整合性を高めていく必要があると考える。今後、条例の内容をアップデートしていく考えはあるか、見解を伺う。		
3. 産業振興行政	1. 地域おこし協力隊について	1. 先日、日本全体で地域おこし協力隊員の定住率が7割を超えたと報道され、経済産業省は「移住定住に着実に効果を上げている」としている。同省のホームページには地域おこし協力隊募集の説明として「国・自治体からのサポートが充実している」とあり、退任後も定住してもらうためには、自治体のサポートは欠かせない。本市の元協力隊員の定住率と、サポートには具体的にどのようなものがあるのかを伺う。		

質 問 順 位	6	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
4. 教育行政	1. 青少年健全育成について	1. 小学生は公園等で遊んでいると、時間の確認を忘れて門限を過ぎてしまうことがある。先日実家のある苫小牧市に帰った際、夕方の5時に小学生の帰宅を促す放送があり、数年前から始まったと聞いて大変良い取り組みであると感じた。江部乙でも過去に鳴っていたことがあることも確認した。子ども達からも望む声が出ていることから、本市においても地域の防犯及び青少年の健全育成の観点から同様の取り組みを導入する考えはないか、見解を伺う。		